

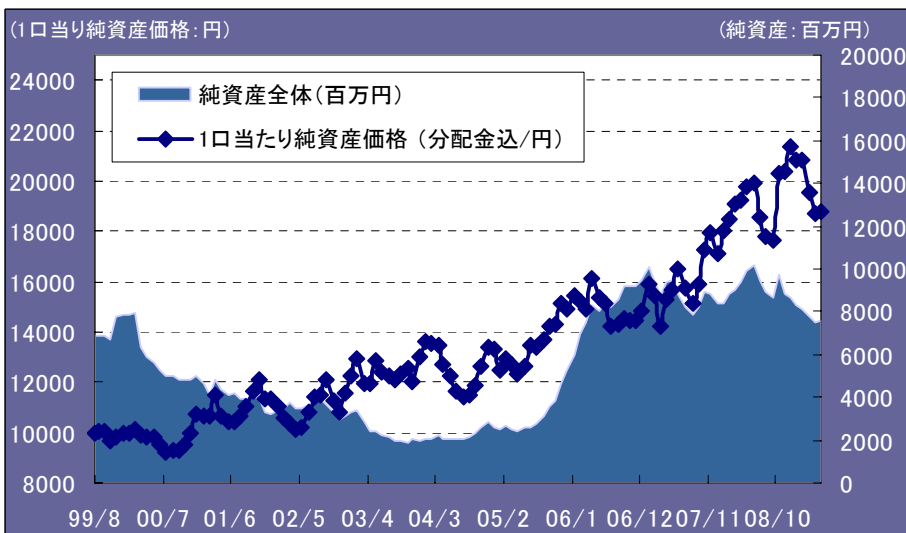
in depth in focus in front

MAN-AHL Landmark



投資目的: ファンドの投資目的は、AHL分散投資プログラム(AHLダイバーシファイド・プログラムと呼ぶことがあります)及び場合により投資運用会社によって選定される複数の独立した運用者の管理するその他の先物戦略に投資することにより、中期的な確固とした成長を達成することです。

設定来の1口当たり純資産価格および純資産総額の推移 期間:1999/8/12~2009/5/25



過去1ヵ月騰落率	0.4%
過去3ヵ月騰落率	-10.0%
年初来騰落率	-12.4%
過去12ヵ月騰落率	-5.1%
設定来総合収益率	87.9%
年率複利収益率	6.6%
年率標準偏差	15.1%
1口当たり純資産価格	¥18,717
純資産総額	¥7,586,195,044
口数	405,313

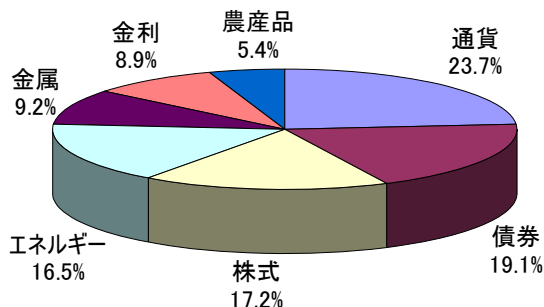
* 上記の各運用実績は、当該期間中の課税前分配金の累計を加えた1口当たり純資産価格を基に算出しております。また、申込手数料等は考慮しておりませんので、実際の投資成果とは異なります。

***マン・AHL・ランドマークの先物・通貨取引の運用は2003年9月より、AHL分散投資プログラム100%で運用されております。**

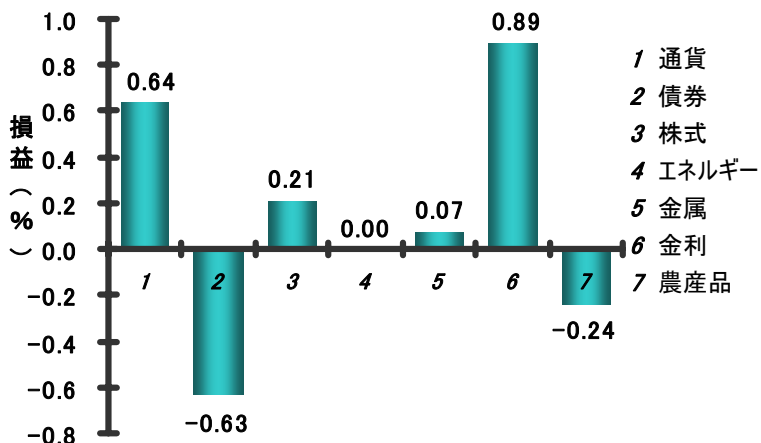
当月の概要

過去数ヶ月間に亘り市場の中心となってきた世界経済の回復というテーマは、当月も引続き注目を集めました。これより生じた楽観的な投資家心理は、リスク資産の価格を押し上げ、定量的トレンド・フォロー戦略にとり、より好ましい市場環境が形成されました。

ポートフォリオのセクター配分



ポートフォリオに対するセクター別月次損益



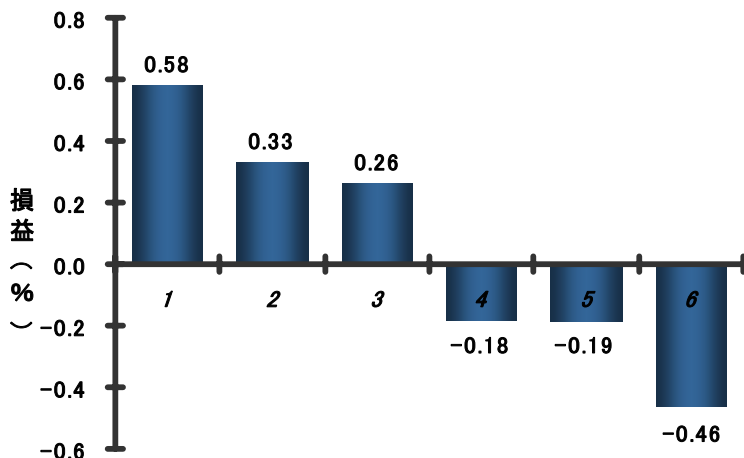
* グラフ・数値は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

in depth in focus in front

MAN-AHL Landmark



主要市場の月次損益



銘柄	方向性
1 ユーロドル	買
2 豪ドル/米ドル	買
3 豪ドル債	売
4 小麦	売
5 天然ガス	買
6 日本国債	売

当月の主な経済動向

- ▶ 世界経済の回復というテーマは当月も引き続き市場の注目を集めました。その結果生じた強気の市場センチメントを背景に、投資家がより高利回りを追求する中、債券市場が下落し、リスク資産が上昇しました。
- ▶ 新たな楽観論と市場への信頼が回復してきた兆候として、VIX指数はリーマン・ブラザーズが破綻した2008年9月以降において最低水準に落ち込みました。一方、世界の貿易取引量の指標となるバルチック海運指数は、中国からの旺盛な需要が回復したことを背景に、2009年における最高値を更新しました。

当月の主なファンド動向

当月を通して、世界の株式相場が引続き上昇したことを背景に、複数の株式指数のロング・ポジションが恩恵を受けました。中国経済に関する一連の良好な経済指標の発表を受け、株式相場が大幅に上昇したため、特にアジア・太平洋地域での取引が好調となりました。一方、世界経済に対する楽観論が存在するものの、金利は依然として当面低水準に留まると予想されています。そうした中、ユーロダラー相場が、当月を通じて安定的に上昇し、またLIBORが継続的に低下するとの観測も後押しとなり、ユーロダラーのロング・ポジションよりリターンを得ました。ユーロポー及び英短期金利のロング・ポジションもプラスに寄与し、短期金利セクター全体として堅調なリターンを得たことで、前月被った損失が相殺されました。当プログラムは、当月を通じて米ドル相場下落に拍車がかかったことから恩恵を受け、好調なリターンを得ました。投資家のリスク選好度の高まりや、米国債に対する最上格付けの継続可能性への懸念が残ったことから、米ドルは貿易加重平均ベースで約7%下落しました。しかしながら、米ドルのロング・ポジションが大半を占めていた先月とは異なり、当月は、米ドル相場下落を捉え、特に、豪ドル、スイスフラン、ブラジルレアルに対する米ドルのショート・ポジションより収益を得ました(実際、リターンを獲得した全ての通貨ペアは米ドルのショート・ポジションでした。)。一方、ユーロに対する円のロング及びショート・ポジションや英ポンドに対する米ドルのショート・ポジションより損失を被ったことで、全体の利益の一部が相殺されました。コモディティ・セクターは、リスク選好度の高まり及び、米ドル相場下落の影響により相場が急騰し、DJ-AIG商品指数は約12%上昇しました。当セクターは、多くの市場でショート・ポジションを保有していたため、相場の急騰より大幅な損失を被りました。エネルギー・セクターでは、ガソリンや原油のロング・ポジションでリターンを得たものの、価格変動により苦戦を強いられた天然ガスや短期の軽油取引における損失に相殺され、ほぼ横這いの結果となりました。金属セクターは、インフレの再来を見込んだ金の取引が奏功し、当プログラムは同相場の上昇トレンドを捉えたため、リターンを得ました。農産物セクターは、小麦やトウモロコシ価格が他のコモディティ相場にあわせて上昇したことを背景に、同商品のショート・ポジションが苦戦を強いられ、マイナスの結果となりました。その他では、債券セクターにとって引続き厳しい市場環境となりました。日本国債は、ほぼ横ばいで当月を終えたものの、月中のボラティリティ水準が非常に高かったため、ショート・ポジションから最も損失を被りました。

* グラフ・数値は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

主なリスクについて

当ファンドの純資産価格は組入れられた有価証券等の値動き、外国為替相場の変化等の影響により変動しますので、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金は保証されておりません。これらの運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。

当ファンドに係る主なリスクは以下のとおりですが、以下に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

●市場リスク

(価格変動リスク)

当ファンドは世界中の先物および外国為替市場の分散投資ポートフォリオを取引する投資プログラムおよび補完投資戦略により投資を行います。そのため、当ファンドの組入れデリバティブ商品は、突発的に予想外の著しい価格変動を生じることがあります。また、組入れデリバティブ商品は、通常の株式市場や債券市場の値動きと異なる場合もあり、時として大きく値下がりすることがあります。この結果、純資産価格が下落し損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

(為替変動リスク)

当ファンドは外貨建資産に投資していることから、外国為替相場の変動の影響を受けます。そのため、外国為替相場が円高方向に進んだ場合には、純資産価格が下落し損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

●信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、純資産価格が下落し損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

●流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、当ファンドは流動性がなくなることのある市場に投資することがあるため、ポジションを清算することが不可能になるかまたはそのための費用が高くなることもあり、その結果、多額の取引費用を生ずる場合があり、純資産価格が下落し損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

in depth in focus in front

MAN-AHL Landmark



お申込みメモ

- ファンドの形態 円建／ルクセンブルグ籍オープンエンド契約型外国投資信託
- 信託期間 無期限（運用開始日 1999年8月12日）
- お申込単位 50口以上1口単位（設定当初1口＝1万円）
（買戻しは1口以上1口単位）
- お申込価額 当該申込直後の評価日現在における受益証券1口当りの純資産価格
- 収益分配 毎年、収益分配方針に基づいて分配を行います。収益分配方針の詳細については投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
- 早期償還 ファンドの純資産額が15億円を下回った場合は、信託期間中であっても償還されることがあります。

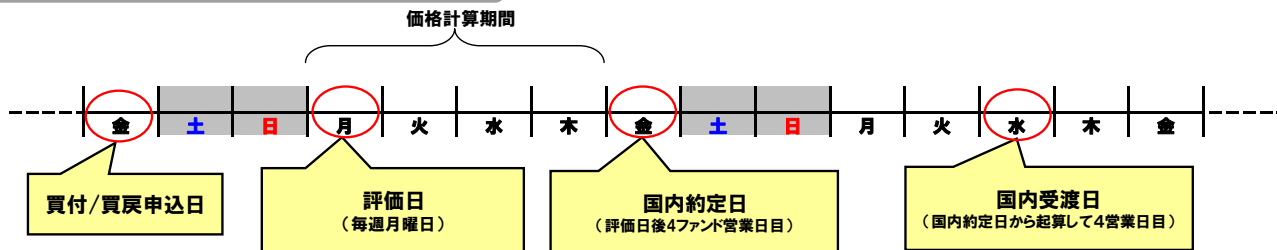
当ファンドに係る手数料等について

- 直接ご負担いただく費用

（お申込手数料）	10,000口未満	お申込金額の3.15%（税抜 3.00%）
	10,000口以上50,000口未満	お申込金額の2.10%（税抜 2.00%）
	50,000口以上	お申込金額の1.05%（税抜 1.00%）
（買戻し手数料）	ございません	
- 保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 - （管理会社報酬） 当ファンドの毎週の平均純資産価額の年率0.15%の報酬（年間最低40,000米ドル）とします。
 - （投資運用報酬および成功報酬） 投資運用報酬は、投資運用会社および運用助言者それぞれに投資運用のため配分された資産の想定額の年率3%の割合、成功報酬はそれぞれの新規の純利益（投資運用会社の場合、流動資産のすべての収益（利息収入を含みます。）および売買益を含みます。）の20%の割合の報酬とします。
 - （代行協会員報酬） 当ファンドの毎週の平均純資産価額の年率0.25%の料率による報酬ならびに合理的な支出金および実費とします。
 - （保管・管理事務代行報酬） 当ファンドの毎週の平均純資産価額の年率0.33%の料率による保管受託銀行および管理事務代行会社に対する報酬（管理事務代行報酬については年間最低61,000米ドル）ならびに合理的な立替金、実費およびファンド資産の保管が委託された銀行および金融機関の保管手数料とします。
 - （ブローカー手数料） 特定の投資戦略に対する投資エクスポージャーの年率1.2%を上限とした手数料、資金調達金利およびそれに関する報酬とします。

※上記のほか、公租公課、銀行取引手数料、弁護士報酬および監査法人報酬、券面印刷費、書類（有価証券届出書および目論見書を含む。）、報告書等の作成、提出、印刷、配布費用、公告費用等をご負担いただく場合があります。当該費用等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。なお、手数料など諸費用の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので表示できません。詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

国内お申込日から国内受渡りまでの日程概要



- 申込日は、原則、毎週金曜日であり、当該金曜日がファンド非営業日の場合には、直前のファンド営業日が申込日となります。
- 国内における1口当り純資産価格公表日＝国内約定日となります。
- 国内約定日から起算して日本における4営業日目が国内受渡りになります。
- 上記は日程のイメージを掴んでいただくための概要であり、ファンド非営業日、日本の祝日または不測の事態等によっては、上記の通りとならない場合があります。
- ※ファンドの営業日：ロンドン、ルクセンブルグおよび東京における銀行営業日であり、かつ日本における証券会社の営業日。（土曜日および日曜日を除く。）詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ※評価日：毎週月曜日。管理会社は随時追加の評価日を決定することができます。

in depth in focus in front

MAN-AHL Landmark



ご留意事項

- 当資料は、マン・インベストメンツ・リミテッドの情報提供等により、三菱UFJ証券株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性や完全性および公平性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するグラフ、数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の成果を保証・約束するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れ有価証券等の価格の下落や、組入れ有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、または、外貨建資産に投資する場合には為替の変動等の影響により、基準価額が下落し損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。
- 投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託の取得のお申込みを行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。なお、投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社にご請求ください。
- お申込みの際に「外国証券取引口座約款」に基づく取引口座の開設が必要となります。

関係会社の概要

管理会社	エムユージーシー・ルックス・マネジメント・エス・エイ
保管受託銀行および支払事務代行会社、 管理事務・登録・名義書換代行会社	ミツビシUFJグローバルカストディ・エス・エイ
投資運用会社	マン・インベストメンツ・リミテッド
日本における販売会社、代行協会員	三菱UFJ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第179号 加入協会 日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会 社団法人金融先物取引業協会

in depth in focus in front

MAN-AHL Landmark



販売会社情報一覧

(順不同)

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
三菱UFJ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第179号	○	○	○
株式会社三菱東京UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJ証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○

※上記情報は当資料作成日時点のものであり、今後変更されることがあります。